

【優良賞】 エッジ処理ミドルウェア「Worker Bee SDK」



株式会社ソルティスター

〒399-0737 長野県塩尻市大門八番町1-2
TEL.0263 (51) 9296
<https://www.saltyster.com/>

代表取締役
岩井 昇一氏

エッジ処理ミドルウェア「Worker Bee SDK」は、カメラやセンサーなどのアプリケーションに組み込むことで、画像処理の結果や収集データの分析、判定の結果から、同製品でサポートするプログラマブルコントローラー (PLC) およびロボットなどの機器と連携が可能。デバイス直結のエッジコンピューティング可能なシステムを構築できる。従来のコンピューターを利用したデバイスや機器制御方式と比べ、極めて高速かつ低コストの制御システムとなる。

従来のIoT (モノのインターネット) ミドルウェアを利用したシステムと比較して「データ収集-時系列データベース化」の処理が不要となり、性能面で数ミリ秒以下の超高速なデバイス・機器制御が可能になる。また、IoTミドルウェアを稼働させるハードウェアも不要で、導入コストも従来10万-20万円だったものが2万円に低減できる。

各種通信プロトコルに対応したデバイス・機器からのデータ収集や制御に関する通信技術を持ち、その技術を活用し汎用的な開発環境をつくることでエッジデバイスから利用できる。用途は、カメラで外観検査を行い、外観不良が出た際に製造ラインで利用するPLCに制御指示を出すことや、ロボットアームの座標情報をカメラが収集し、カメラの撮影位置をトリミングするなどの事例がある。

主なターゲットはカメラ市場とセンサー市場で、カメラメーカーとの協業を始めた。

システム事例 (カメラへの実装)

